

5月特別専門部会（企画：同志社大学）

◆日時：5月16日（木）13：30－15：30

◆場所：中之島フェスティバルタワー・ウエスト 13F

日本アイ・ビー・エム株式会社

大阪府大阪市北区中之島三丁目2番4号

<https://www.ibm.com/ibm/jp/ja/office.html>

◆テーマ：働き方を変える「アジャイル」なオフィス

1. オープニング 会長

2. 挨拶

日本アイ・ビー・エム株式会社 不動産戦略 スペシャルプロジェクト担当 部長 平田大亮

3. 「日本 IBM 大阪事業所のご紹介」

概要：日本 IBM 大阪事業所の新しいアジャイル・オフィスおよび IBM の人工知能ワトソンを活用した簡易デモをご紹介します。

“新オフィスの設計思想”

このオフィスは2018年度の日経ニューオフィス賞を受賞しました。新オフィスは“アジャイル・オフィス”として、お客様のビジネスのイノベーションを支援している日本 IBM 社員の新しい働き方を推進するためにデザインされ、

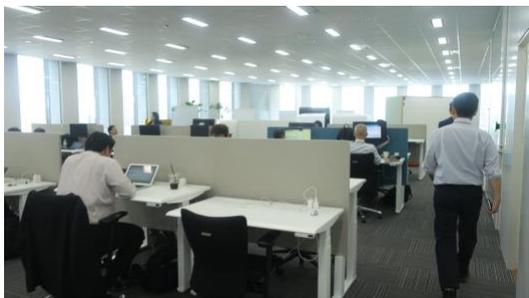
柔軟なチーム編成や、社員間のコミュニケーションとコラボレーションを促進するオフィス環境が整備されています。

5. オフィス見学

6. 総合討論

◆当日の写真





◆開催関係者への礼状

日本アイビーエム株式会社

平田様

写：会員各位

同志社大学理工学部 三木です。

昨日は貴社で知的オフィス環境推進協議会の特別専門部会を開催させて頂き、誠に有り難うございました。お忙しい中、私どものために2時間以上をとっていただき、格別のご高配を賜りましたこと、深く感謝を申し上げます。

フェスティバルタワーウエストのビルにつきましては、知的オフィス環境推進協議会として過日見学をさせて頂きました。省エネ性能や耐震性能などが高く、また最新のBCP設備を備えたビ

ルとして、大阪を代表するトップクラスの超高層ビルに感動しました。特にウエストは香雪美術館が有名で、文化の香りも非常に高いビルです。その中の4フロアを占める日本IBM社の大阪事業所を見学できましたこと、大変嬉しく思います。

まずはエントランスホールの未来的なデザイン、懐かしさも漂う未来が見えて宇宙船に踏み込んだようでした。そして、巨大な液晶ディスプレイパネルに囲まれた空間、そこには来訪者のみんなの顔が映し出され、しかも人工知能ワトソンが各人の表情から感情を推察し、性別や年齢を推定し、特長も捉えられており、驚きました。また、大阪で放映されているすべてのテレビ番組での音声から、高い頻度で使われているキーワードを超大型液晶ディスプレイに映し出し、いまだどんな話題が放送されているのか一目で分かり、世間の動きが手に取るように分かりました。まさに実時間話題ザッピングであり、文字情報の有用性を再発見しました。

オフィスでは、電動昇降デスクが各社員に与えられていること、高層階から外を眺めるソファや籠もる会議エリアなど、種々のオフィス家具が何種類もあり、さながらオフィス家具メーカーの展示場かと思うぐらいでした。貴社では全員にiPhoneとMacBookが支給されており、その理由も、OSレベルでセキュリティーが高いことだということ、Windowsが一般的な企業とはまったく異なる戦略に驚きました。IBM社としてはアップル社とはあまり競合しませんが、マイクロソフト社とは少し競合するのが理由かもと思考しました。

会議室の予約システムはスチールケースのシステムで非常に使いやすく思いました。ガラスウォールの中の人少し見えづらく、会議中かどうかすぐには判断できなかったのも、もう少し透明度を上げて良いのかなと思いました。また、いくつかのプレゼンテーションエリアは大変素晴らしく、特に30名ぐらいが円形のひな壇に座ってディスカッションできる場所は、カラフルさや、工夫されたベンチのクッション、膝の上にPCを乗せるときのパネルなど、随所に改良を加えられたことがわかり、RESOとして、常に執務者のアンケートを基に改善を加えて行く姿勢は重要と思いました。

午後だったので、多くの方が外に営業やシステムエンジニアとして社外に出ておられ、オフィスはとても静かで、仕事しやすい状況だと思いました。また、東京都大阪では、ビルのセキュリティーに関する基本的な考え方が異なることも始めて知りました。土地によって、ビルやオフィスの使い方、使われ方にカスタマイズが必要なのですね。まるで、インスタントラーメンの味付けが地方によって異なるのと同じで、大変興味深い例でした。

あまりお金をかけられなかったということで、最近流行の内階段や、抜き天井はありませんでしたが、家具の種類の高さ、液晶ディスプレイの高さ、会議室の使いやすさ、そしてシンボリックなゾーンにはかなりのお金をかけてカスタマイズされていること、とても印象的なオフィスで、素晴らしかったと思います。就職する学生も、こんな場所で働いてみたいときっと思うことでしょう。フェスティバルタワーウエストは、まさに地の利がよく、BCP環境としても、近所に日本銀行や関西電力がある特殊な地域で有り、梅田より災害に強いと思いました。

昔、貴社の自社ビルがあった四つ橋通りの本町あたり、靱公園のビルの前は、若い頃には大変よく通った道です。何かと言えば会議が大阪科学技術センターであったので、いつも貴社のビルを見上げていました。そこは売却され、マンションに生まれ変わるとのこと、オフィスはいま駅周辺に集まり、中心部はホテルとマンションに変貌しつつあることもお聞きし、時代の流れを感じました。駅近がキーワードですね。フェスティバルタワーは、大阪駅から歩けるのがいいですね。中之島界限は、京阪沿線の延伸とかもあり、梅田－淀屋橋－堂島地区はフェスティバルタワーの完成で大阪のシンボルゾーンになったこと、そしてそこに貴社の素晴らしいオフィスがあること、世界第2位のシステムコンサルタント企業として、ワトソンも含め、クラウドとAI時代を見据えて、貴社がますます大きく発展されることを祈念しております。

それでは、今回の見学会に関して格別のご高配を賜りましたこと、有り難うございました。今後ともどうぞよろしく申し上げます。